

アメリカ小児科学会では、睡眠環境での乳児死亡を減らすためのガイドラインを 2022 年に改訂しました。

その中で、家庭用心肺モニターについて言及がありましたので、抜粋して紹介します。

出典：Pediatrics (2022) 150(1):e2022057990

	2016 年ガイドライン	2022 年改訂ガイドライン
家庭用心肺モニターの使用	乳児のバイタルサインを監視するように設計された他の商用デバイスが SIDS のリスクを軽減するというデータはありません。	ウェアラブルモニターを含む、消費者向け心拍数およびパルスオキシメトリモニタリングデバイス(消費者向けウェルネスデバイス)は、消費者向けウェルネスデバイスとして販売されています。消費者向けウェルネス機器とは、FDA によって「健康的なライフスタイルを維持または奨励するためのもので、病気や状態の診断、治療、緩和、予防、または治療とは無関係」と定義されています。したがって、これらの機器は医療機器と同じ規制要件を満たす必要はなく、FDA の指定の性質上、睡眠関連の死亡を防ぐために使用することはできません。これらのモニターの使用は親に安心感を与える可能性があり、これらのモニターを使用することに禁忌はありませんが、これらの死亡のリスクを減らすためにモニターを使用することを裏付けるデータが不足しています。また、これらのモニターの使用は、親の自己満足に陥り、安全な睡眠ガイドラインの遵守を低下させるという懸念もあります。家族が自宅でモニターを使用するという決定は、AAP の安全な睡眠ガイドラインに従うことに代わるものと考えるべきではありません。

SIDS のリスクを減らすための戦略として、家庭用心肺モニターを使用しないでください。心肺モニターの使用が SIDS の発生率を低下させることは文書化されていません。[132-135](#) これらのデバイスは、無呼吸、徐脈、およびパルスオキシメトリーを使用すると、これらの状態のリスクがある乳児のオキシヘモグロビン飽和度の低下を検出するために自宅で使用するために処方されることがあります。[さらに](#)、退院前の定期的な院内心肺モニタリングでは、SIDS のリスクがある乳児を検出することは示されていない。ウェアラブルモニターを含む、消費者向け心拍数およびパルスオキシメトリモニタリングデバイス(消費者向けウェルネスデバイス)は、消費者向けウェルネスデバイスとして販売されています。消費者向けウェルネス機器とは、FDA によって「健康的なライフスタイルを維持または奨励するためのもので、病気や状態の診断、治療、緩和、予防、または治療とは無関係」と定義されています。[したがって](#)、これらの機器は医療機器と同じ規制要件を満たす必要はなく、FDA の指定の性質上、睡眠関連の死亡を防ぐために使用すべきではない。これらのモニターの使用は親に「安心感」を与えるかもしれないし、これらのモニターの使用に禁忌はないが、これらの死亡リスクを減らすためのモニターの使用を裏付けるデータが不足している。また、これらのモニターの使用は、親の自己満足に陥り、安全な睡眠ガイドラインの遵守を低下させるという懸念もあります。家族が自宅でモニターを使用するという決定は、AAP の安全な睡眠ガイドラインに従うことに代わるものと考えるべきではありません。